

ご案内

◆移動

館内には、2つのエレベーターがあります。4Fから3F・2Fに移動する際には、一度、1Fまで降りてエレベーターを乗り換える必要があります。4Fへは、右図の青いエレベーター、2、3Fは、緑のエレベーターをお使いください。

◆食事

3F ポートテラスカフェで喫茶・食事ができます。4F 交流コーナーでお持ちになった食品の飲食が可能です。(3F カフェは、持ち込み不可です。)

◆ 救護・緊急対応

体調不良、落し物、その他ご不明の点があれば、4F セミナールーム 10 の本部、1F 受付までご連絡ください。

◆相談コーナー

ボランティア、キャリア、インターン、NGO/NPO運営などに関する無料相談です。相談員不在時には、本部にお声掛けください。

◆お願ひ

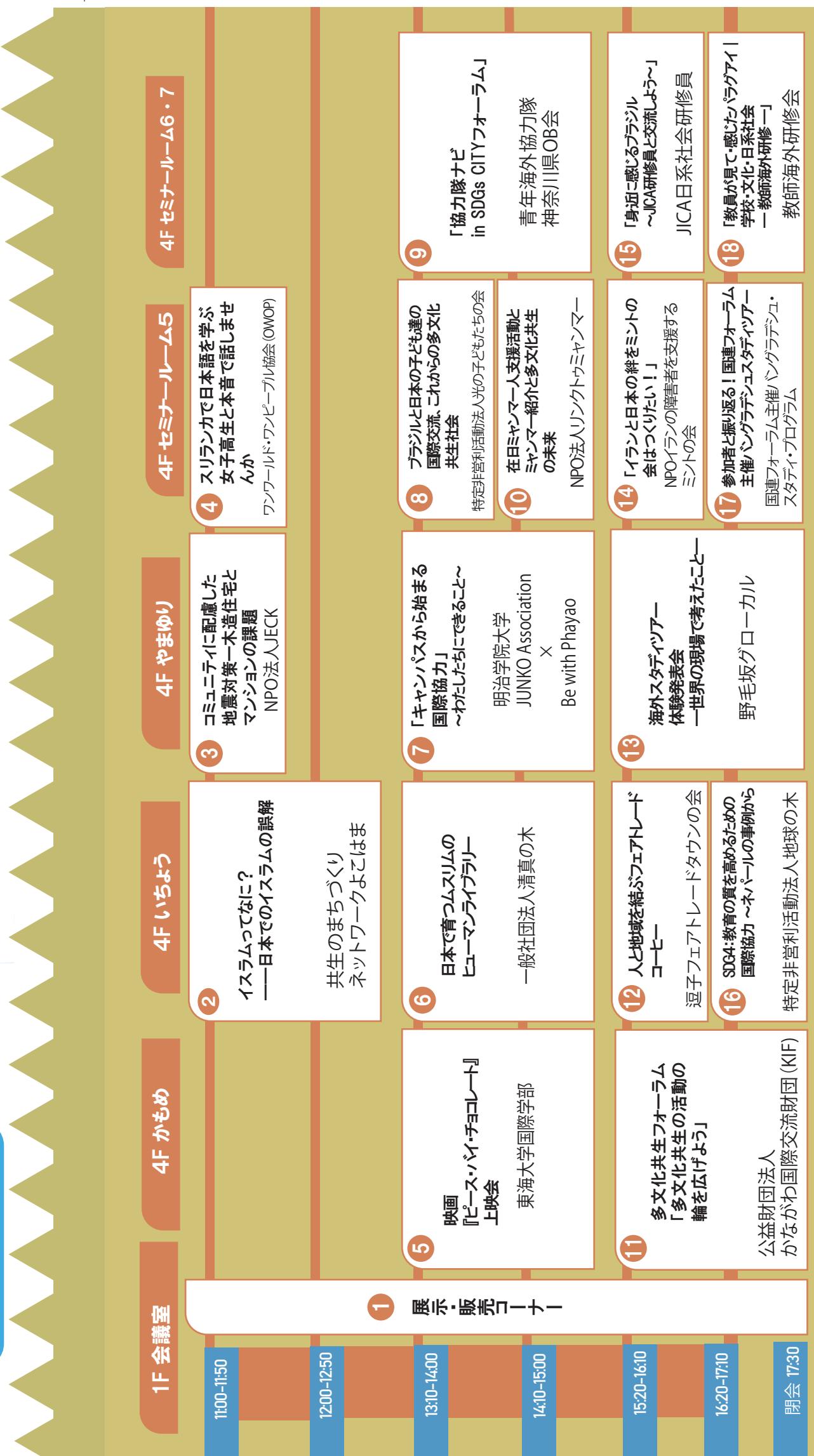
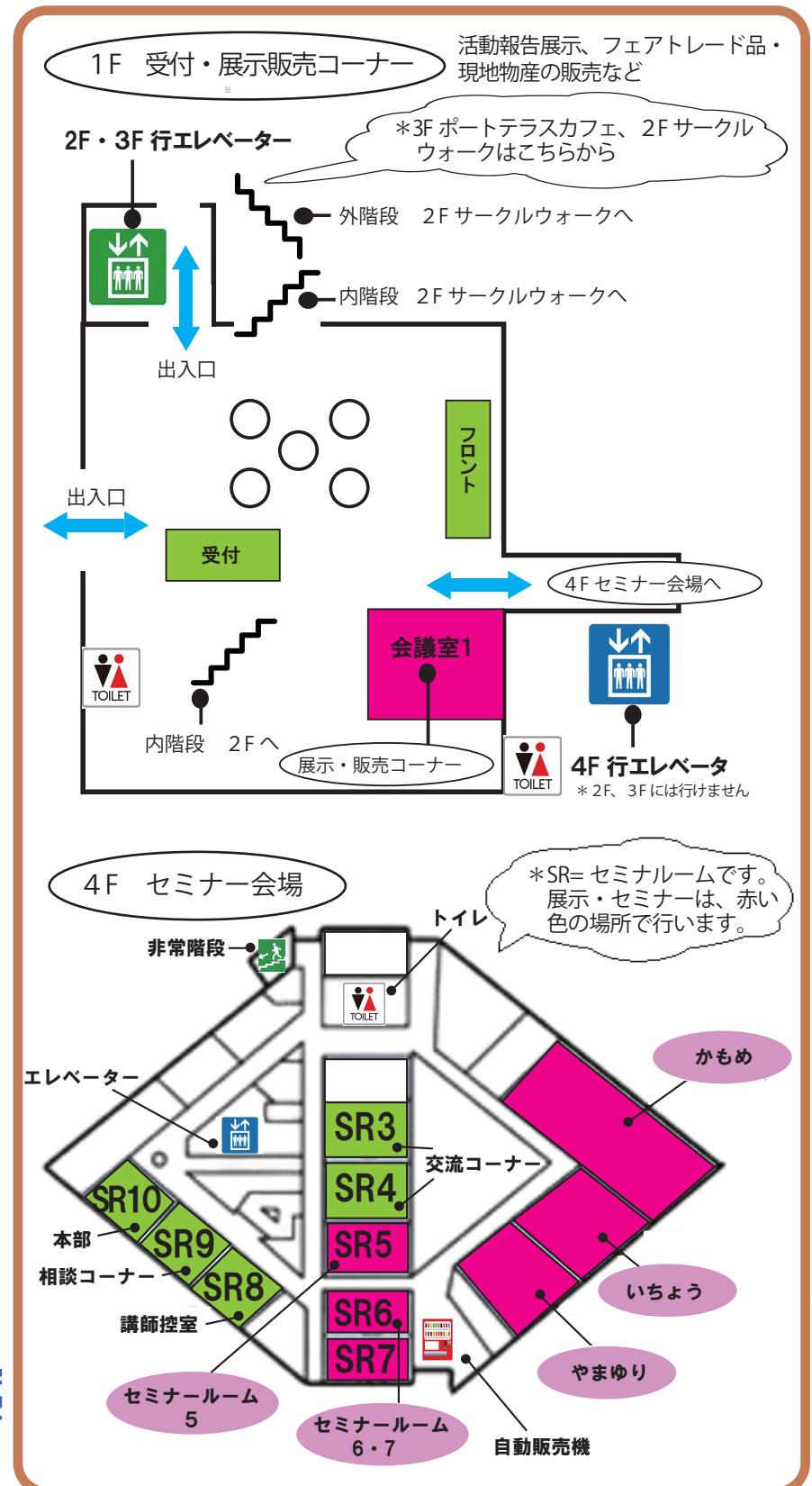
携帯電話の電源をお切りいただき
マナーモードにしてください。講座
の無断撮影・録音は禁止です。

◆最後に

◆最後に
ご来場者様アンケートへのご協力を
お願いします！

回収箱は、1F受付、4F各セミナールーム、交流コーナーに設置しております。

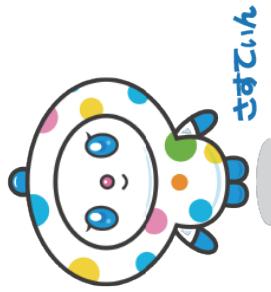
→右のQRコード
からもオンラインでご回答いただけます。



SDGs CITY 7�-Ղ 2026

2.14 AT
11:00-17:30
@JICA 横浜

国内外を拠点に国際理解・国際協力に携わるNGO/NPO、学校、大学、企業、その他の団体が活動に関連したセミナー、講座、映画上映会、商品の販売、展示などを行うイベントです。



1 展示・販売コーナー

- 特定非営利活動法人光の子どもたちの会
- 特定非営利活動法人リンクトゥミャンマー
- Global Bridge Network
- 横浜ユネスコ協会
- 特定非営利活動法人地球の木
- 逗子フェアトレードタウンの会
- ワンワールドワンピープル協会 (OWOP)
- 特定非営利活動法人 JUNKO Association
- Be with Phaya

活動紹介・展示
フェアトレード品・現地物産
の販売



**2 イスラムってなに？
——日本でのイスラムの誤解**

共生のまちづくりネットワークよこはま

みなさん、イスラムについてどのようなイメージをもっていますか。あなたの身近にイスラム教を信仰する人（ムスリム）はいますか。近年、来日する外国人が増え、日本のなかでもムスリムの人々を見かける機会が多くなってきました。本講座では、日本におけるムスリムの日常の暮らしや日本の地域コミュニティとどのように関わっているのかなどについて、イスラム教育指導者にお話をうかがいます。



**3 コミュニティに配慮した地震対策
一木造住宅とマンションの課題**

NPO 法人 JECK

我が国では、阪神淡路、東日本大震災と多くの地震を経験してきました。その結果、地震に備えての備蓄や避難経路などの理解は進んでいます。また、能登半島、熊本での地震は、災害に対する「共助」の重要性を提起しています。一方、少子高齢化社会の深化により、大震災時は、「公助」が難しくなっています。ここでは、旧木造住宅の倒壊リスクと新たに建設されたマンション群のコミュニティの分断と共助の必要性を議論します。



**4 スリランカで日本語を学ぶ女子高生と
本音で話しませんか**

ワンワールド・ワンピープル協会 (OWOP)

2026 ホームステイ in スリランカに向けて SDGs 体感スリランカー昨年夏は、ホームステイ先の日本語クラス生徒と一泊二日のバス旅行をしました。授業中の真剣な眼差しは、バスが出発して直ぐに変貌、大音響の音楽に合わせて歌い踊り、ホテルでも深夜まで続きました。部屋に戻れば、女子トークが続き、スマホ・ミニスカート禁止、三つ編み励行の校則はキライと本音が爆発。そんな生徒たちと ZOOM で話しませんか。



**5 映画『ピース・バイ・チョコレート』
上映会**

東海大学国際学部

この物語は、シリア内戦によって工場を失った父親が、再びチョコレート工場を復活させたいという強い思いを胸に、新たな土地カナダで生きる道を探していく物語です。受け入れ先で与えられた小さなチャンスをきっかけに、チョコレート作りを通して言語や宗教の壁を少しずつ越えていきます。困難の中でも支え合い前に進もうとする家族の姿が描かれた、家族愛に溢れた物語です。映画と共に、バレンタインデーを過ごしてみませんか？



**6 日本で育つムスリムの
ヒューマンライブラリー**

一般社団法人清真の木

日本育ちのムスリム 3 名を「本」として招き、その人生に耳を傾けてみませんか？パキスタンやインドネシアにルーツを持つ方、そして日本人の家庭で育った方。背景は違っても、日本で共に暮らす一人ひとりの等身大の日常があります。同じ空の下に暮らす隣人として、対話を通じて彼らの「素顔」に触れてみてください。メディアの情報だけでは見えてこない、新しい発見がきっと待っています。



**7 「キャンパスから始まる国際協力」
～わたしたちにできること～**

明治学院大学
JUNKO Association × Be with Phaya

私たちはそれぞれ異なる団体で活動をしていますが、現地への想いや抱えている課題には多くの共通点があります。当日は、学生による団体の活動紹介に加え、「学生としてできる支援とは？」などの悩みやこれまでの失敗を交ながら、私たちなりの支援のかたちをパネルディスカッションを通して皆さんと一緒に考えます！展示コーナーでは、タイ・ベトナム・ミャンマーの物品販売もございますので是非お立ち寄りください。



**8 ブラジルと日本の子ども達の国際交流、
これからの多文化共生社会**

特定非営利活動法人光の子どもたちの会

私たちは、日本とブラジルで教育を通した活動を行っている団体です。2000年にカノア保育園を創設して以降、私たちは活動を通して、特に子どもたちに対し、自らの将来を選択していくための「生きる力」を持てるように支援しています。多文化共生という言葉を聞くことが多くなった現在、外国につながりのある人たちが身近に感じることが多くなったのではないか。ブラジルと神奈川県内の小学校や未就学児との交流から見てきたそれぞれの姿をご報告させていただきます。

(※座談会は対面参加のみ。ぜひお気軽にご参加ください。)



9 「協力隊ナビ in SDGs CITY フォーラム」

青年海外協力隊神奈川県OB会

青年海外協力隊 神奈川県OB会は神奈川県にゆかりのあるJICA海外協力隊経験者により組織され、国際協力や地域での活動を後押しする団体です。

本講座では、ウズベキスタンから1月に帰国した方と、ホンジュラスで障害児・者支援に取り組んだ方のお二人にお話しいただきます。報告会の後は、経験者との座談会を行います。

(※座談会は対面参加のみ。ぜひお気軽にご参加ください。)



**10 在日ミャンマー人支援活動と
ミャンマー紹介と多文化共生の未来**

NPO法人リンクトゥミャンマー

たとえば若い外国人の方が働くコンビニはもはや現代日本の日常風景となっています。様々な統計調査も明らかにしている通り在日外国人の数はこのように増加傾向にあります。一方で政府や自治体等による外国人の定住に必要な支援や措置は今なお十分とはいません。この講座ではミャンマーという国や当会の活動の紹介、なぜ日本に移住するのかといった分析を通じて、これから多文化共生社会について皆様と一緒に考えます。



**11 多文化共生フォーラム
「多文化共生の活動の輪を広げよう」**

公益財団法人かながわ国際交流財団

県内ではさまざまな市民活動が行われており、それを下支えする助成制度にも多様なものがあります。また外国にルーツを持つ人たちがさらに増えていくことで、多文化共生の活動も連携協力も今後一層、求められていくことになるでしょう。そこで助成金や多様なリソースを活用している団体、助成制度を設置している組織、そして関心のある方々が一堂に会して、多文化共生を育む活動の可能性について対話するフォーラムを開催します。



**12 人と地域を結ぶフェアトレード
コーヒー**

逗子フェアトレードタウンの会

逗子市は2016年に日本で3番目のフェアトレードタウンとして認定されました。全国で広がるフェアトレードを通じたまちづくりの運動はなにを目指しているのか、実際にはどのような活動をしているのか、どうしたら自分の町もフェアトレードタウンに認定されるのかなど、逗子における取組みを通してお話しします。また、フェアトレードの認知度向上と社会貢献への一歩として開発された「ZUSHI FAIR TRADE COFFEE」からコーヒーの美味しい淹れ方を学びます。



**13 海外スタディツアーエクスペリエンス発表会
「世界の現場で考えたこと」**

野毛坂グローカル

野毛坂グローカルが年2回実施する海外スタディツアーパートに参加した学生による体験発表会です。海外の福祉や教育、地域の現場で見たこと・感じたことを、エピソードを交えて紹介します。「支援って何だろう？」「学びを将来にどうつなげる？」そんな問いを出発点に、リアルな体験から考えたことを共有します。海外に興味がある人、スタディツアーパートを検討中の人にもおすすめです。



14 「イランと日本の絆をミントの会はつくりたい！」

NPOイランの障害者を支援するミントの会

イランの人々の生活や文化、ミントセンターに集まる人々の事を日本の人たちに知っていただきことから始めたい！日本から何ができるのか？一緒に考え行動していただけませんか？



**15 「身近に感じるブラジル
～JICA研修員と交流しよう～」**

JICA日系社会研修員

本講座では、JICAの日系サポート研修に参加中のサーレハ・ガブリエラ氏が、出身国ブラジルの魅力をお伝えしつつ、研修先であるABCジャパンの日本語教育支援や外国人支援の現場で学んだ内容を紹介します。

子どもたちへの日本語・母語支援の経験を通して得た気づきや、今後ブラジルでの日本語教育に生かしたい取り組みについてお話しします。



**16 SDG4：教育の質を高めるための
国際協力～ネパールの事例から**

特定非営利活動法人地球の木

ネパールの教育は就学率等のアクセス面で大きく前進している一方、学習の質、地域格差、財源不足、教員の質といった課題がSDG4達成の壁になっています。地球の木はネパールNGOのSAGUNと20年にわたって住民主体の開発支援を行っており、2021年からインドラサロワール村で質の高い教育に特化したプログラムを実施しています。本講座では、ネパール農村における教育の課題とはなにか、実施したプログラムとその成果について報告します。



**17 参加者と振り返る！国連フォーラム主催
「バングラデシュ・スタディ・プログラム」**

国連フォーラム主催
バングラデシュ・スタディ・プログラム

国連フォーラムは、国連に関心を持つ有志により設立された団体です。スタディ・プログラムでは毎年、発展と課題が交差する国を選定し、2025年は「平和・人権・開発」をテーマにバングラデシュへ渡航しました。本講座では、国際機関や農村、難民キャンプ訪問を通じた気づきや、参加者自身の関心に基づく仮説検証を振り返ります。国際課題や国際機関に関心を持つ方にぜひご参加いただけます。



**18 「教員が見て・感じたパラグアイ
学校・文化・日系社会
～教師海外研修～」**

教師海外研修会

開発教育・国際理解教育を深めるため、教員がパラグアイで2週間の研修を行いました。現地の学校や文化、日系社会の様子など、実際に見て感じ、学んだことを分かりやすくお伝えします。あわせて、伝統的なボトルダンスの体験も行います。

